渡辺先生の巡検

（三　年　生）

東京オリンピックをさけて皆の希望で9月巡検に出かけました。敦賀の扇状地，三方の断層崖，沈降海岸，小浜の城下町，漁村，天の橋立，丹後ちりめんの中心地峰山，最後に鳥取砂丘と山陰の海岸線をまわりました。

山陰と聞けば夏は涼しく，日本海は荒々しいという印象を持っていましたが　実際は暑く海は静かで凪いでいました。ちょうど山陰豪雨の後でしたのでとの河川も水が豊富で東京の住民にはうらやましく思えました。

鳥取大の岩永教授，先輩の板垣さん，宇野さんに大変お世話になりました。

那須扇状地の巡検（三年の秋休み）

（四　年　生）

オリンピックでにぎわう東京をあとにして私達は松井先生と那須へ三泊四日の巡検に出かけました。那須扇状地の地形，土地利用，那須疎水，農業集落の形態を見たり，戦後の開拓農村地域で入植当時の事から今後の大規模な統合開発計画を聞いたり，ついでに山で栗ひろいもしました。夜は昼以上に目がさえてお菓子を食べたり歌を歌ったり，将来の事を話しあったり楽しい時を過しました。

浅見先生の巡検　（三　年　生）

4月5日に出発して，三方ヶ原，三ヶ日，天伯，高師原，天龍峡，伊那谷，諏訪，霧ヶ峰と廻りました。月明りの中に黒く横たわる浜名湖や，初めて見るカールや，雪の霧ヶ峰からみえる　風の様に連なるアルプスの峰々に，私達はすっかり魅了されました。そして又，私達の関心事である体重を測ったり，食べ物の話をしたり，今回の巡検は，すばらしい景色と楽しい事ばかりで，疲れなど感じずに，面白く行ってきました。

九州巡検　　九路運悪子

地理科の学生である故に大威張りで行ける楽しい巡検の最後は九州でした。地域を分担しての予習や現地の行動が余りにも義務的であったため，解散時にお叱りを受けました。どのｆｉｅｌｄもマイクロバスとお役人が一緒でしたので大変びっくりしました。コースは私達がいつも気になっていた熊本から始まり，人吉，鹿児島，鹿屋の順でした。先生は勿……。桜には尚早の3月半ばでした。（四年生）